

菊池市男女共同参画に関する市民意識調査の結果がまとまりました

本調査は、菊池市における男女共同参画に関わる市民の意識と実態を把握し、広く市民の意見を反映させながら、今後の男女共同参画施策をより効果的に推進するための基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

その結果がまとまりましたので、内容の一部をご紹介します。

調査対象

(一般) 市内に居住する16歳以上の男女2,000人(住民基本台帳に基づく無作為抽出)

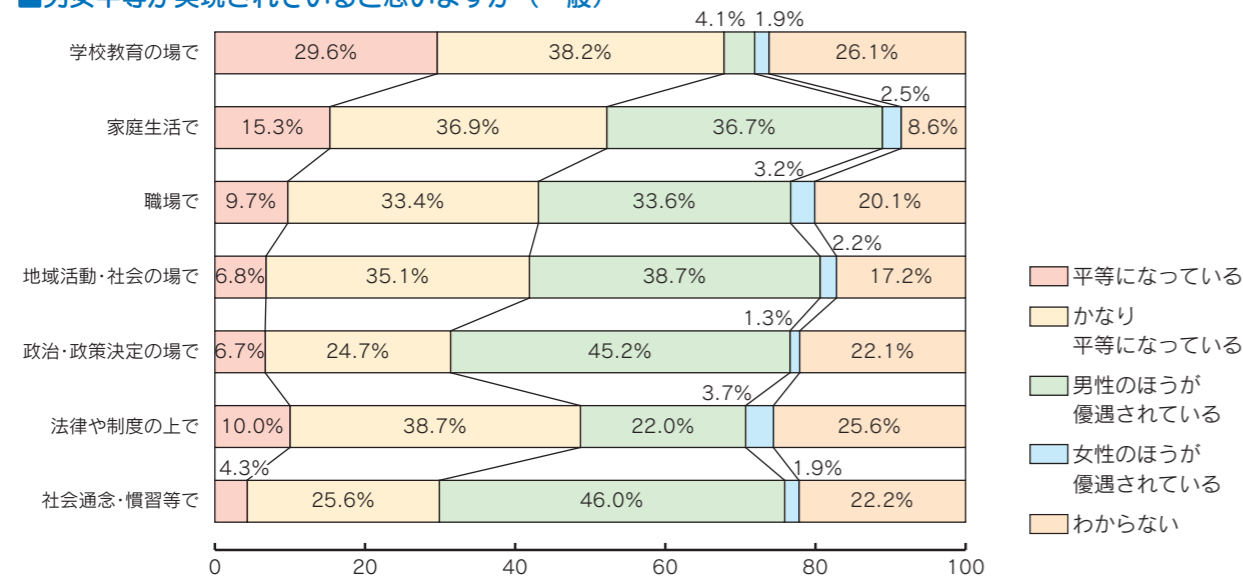
(中学生) 菊池市内中学校5校3年生全員

※全文は、菊池市中央公民館・七城公民館・旭志公民館・泗水図書館にて閲覧できます。

男女平等に関する考え方について

男性と女性では感じ方が大きく異なりましたが、男女平等が実現されている分野は「学校教育の場」が最も高く、「家庭生活」「職場」「地域活動・社会の場」では依然として低いようです。特にこれまで培ってきた「社会通念・慣習等」では、多くの人たちの意識改革が必要のようです。

男女平等が実現されていると思いますか(一般)



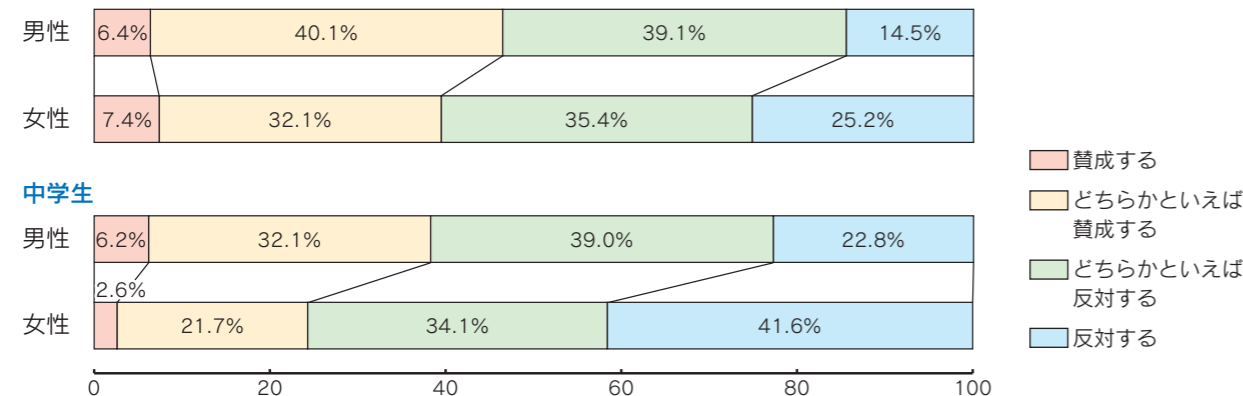
男女平等に関する考え方について

性別による役割固定の考えに賛成は約4割、反対は約6割となっています。これらは若い世代ほどその傾向は強くなっており、世代間での考え方のギャップが見られます。

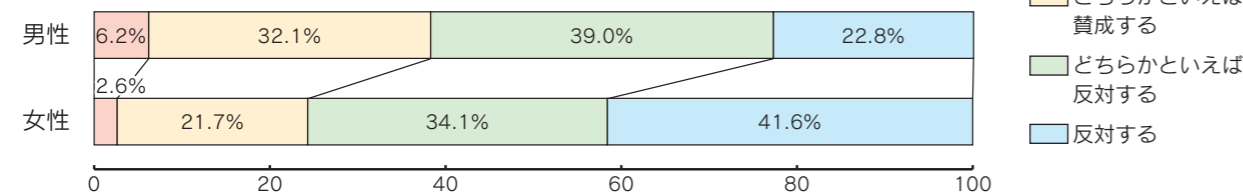
家庭生活の様々な仕事では概ねどの年代でも「男は仕事、女は家庭」が一般的になっていますが、若い世代では育児・しつけや教育に関しては男女間での分担が進んでいます。

「男は仕事、女は家庭」など性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。

一般



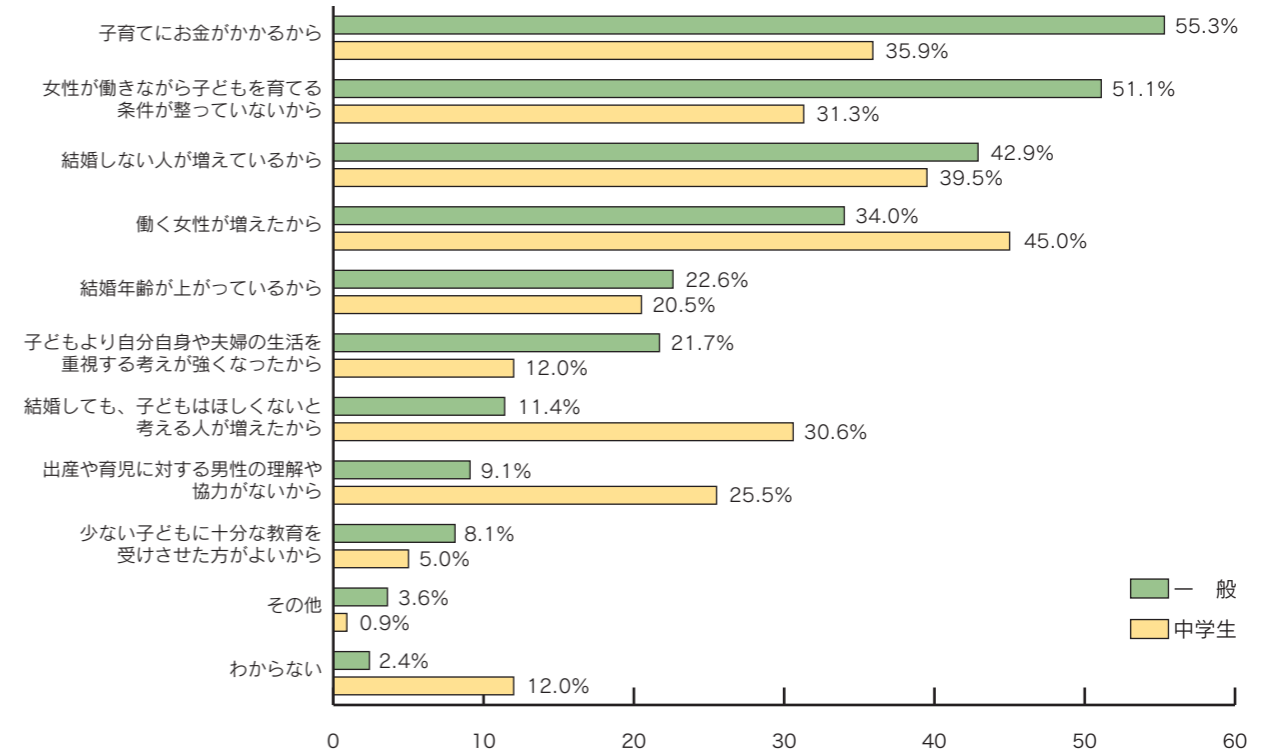
中学生



出生率低下について

出生率低下の要因としては、「経済的負担」をあげる意見が多く、次いで「女性が働きながら子どもを育てる条件が整っていないから」でした。これは性別、年代別でも大きな違いはみられませんでした。子育てに関する行政の政策や制度の改善など進んできていますが、社会全体で取り組む必要があります。

今、女性が一生において産む子どもの数が少なくなっていますが、その原因は何だと思いませんか。



仕事と家庭の両立について

仕事と家庭の両立について女性が仕事をしながら家庭を守るためには、男性の協力が求められ、事業所においても男性女性ともに育児休業や介護休業等が取得しやすい環境づくりを求めています。

男女がともに仕事と家庭を両立させるうえで、どんなことが問題になっていると思いますか。(一般)

